



式中だより

383号

令和2年(2020年)

2月20日(木)

発行 式根島学園 式根島中学校

04992(7)0017

思考を変えるだけで

副校長

「牛は水を飲んで乳とし 蛇は水を飲んで毒とする」

インド発祥といわれる華嚴經の教えに、このような一節があります。牛は水を飲んでその水を乳に変え、人々に栄養と潤いを与えます。しかし、蛇は同じ水を飲んでその水を毒に変え、人々に危害を加える危険な物質を作り出します。

みなさんにとって学習する機会(授業という学習環境)は義務教育である中学校までは、平等に与えられています。その機会を平等に受けているはずなのに、同じ水(知識や技能)を飲んでも人々に潤いを与える乳を作る人と、人々を脅かす毒を作る人が出てきます。

今、みなさんが飲んでいる水はどちらになっているでしょうか?

どちらを作れるようになるのかを考えると、ヒントになる言葉があります。

「世の中のことはすべて 心の持ちようひとつでどうにでもなる」

この言葉は「日本の資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一の言葉です。彼は、幕末から明治時代にかけて500以上の会社の設立、600以上の教育・社会事業に携わった実業家です。最近では、新紙幣で一万円札の肖像に選ばれたり、来年の大河ドラマで主人公としても取り上げられたり、改めて注目を集めている人物です。

今、目の前で起きていることが、よいことなのか、悪いことなのか。楽しいものなのか、つまらないものなのか。実はそれを決めているのは自分の心なのです。ひとつの授業をとっても、「勉強つまらないなあ」と思いながら受けるのと、「できるようにになりたい」と思いながら受けるのでは吸収率が大きく変わってくるでしょう。「どうせこんな環境では…」と考えながら生活するのと、「この環境だったら…」と考えて生活するのでは、生活の質が変わってくるでしょう。学校、家庭、職場、地域など、100%自分の思い通りということはなかなかないけれど、今、自分のおかれている環境や状況が自分にとって一見マイナスに見えることでも、真に心から楽しむように心掛けることで、大きなプラスにしていくこともできます。そういった思考ができるようになるためには、中学生頃までの学習体験や基本的な生活習慣が大きく影響するような気がします。子供たちには、将来、社会に出て大量の水(情報)を飲んだときに大切なものを作れるような人に成長していけるように、毎日を楽しみながら、日々の学習に励んでほしいものです。

卒業式のお知らせ

この度、第73回 卒業式を下記により挙行いたします。

日時:令和2年3月19日(木) 午前9時20分 開式

場所:本校 体育館

※ 昨年度より開式が10分早まっています。





新島地区作品展



御来場いただきありがとうございました

《国語科(書写)》

今年度の書写は、7年生「地球」「初春令月」「共生社会」、8年生「紅花」「平和の祭典」「新しい時代」、9年生「輝ける未来へ」「伝統の継承」「令和の初夢」を作品として仕上げました。書き初めは、お手本の中から自分が書きたいと思った字を選択し、書いています。作品展へ展示したのは、それぞれ1枚ずつですが、その1枚のために、たくさん練習をしました。積み上げられた練習が伝わるよい作品に仕上がっていたと思います。



《美術科》

7年生は「形を丸ごと感じてみよう(粘土)」、「絵文字がしゃべりだす(平面)」、8年生は「環境に生きる彫刻(粘土)」、「自画像、今を生きるあなたへ。(平面)」、9年生は「暮らしやすい町づくり(模型作品)」、「古都を巡る修学旅行の思い出(水墨画)」を出展しました。生徒たちはテーマについて発想し、材料や用具を工夫して試行錯誤しながら、それぞれが魅力的な作品を完成させました。



《技術科》

7年生は、材料と加工に関する授業で「CDBOX」製作。生物育成に関する授業で「ダイコン」栽培。8年生は、エネルギーに関する授業で「LEDスタンド」製作。9年生は、材料と加工に関する授業で「鋳造キーホルダー」を製作しました。作業工程や技術を習得して作り上げた製品です。



《家庭科》

授業では、「布を用いた生活に役立つもの」をテーマにして、全学年で製作を行いました。7年生は「エプロン」、8年生は「ハーフパンツ」「理想のマイルーム」、9年生は「幼児のための布絵本」です。また、全学年とも製作についてまとめた製作レポートも展示しました。

7年生は、ミシンの直線縫いをたくさん使い、作品を完成させました。ポケットにオリジナルデザインの刺しゅうもしました。8年生は、初めて衣服の製作に取り組み、曲線縫いや端ミシンに苦戦しながら完成させました。また、住生活の学習のまとめで、パソコンで製作した間取り図も展示しました。9年生は、式根島保育園での保育実習で、製作した作品を使って園児と交流しました。



小中合同レクリエーション 逃走中～式根島～

生徒会担当

2月13日（木）の6校時に小学校、中学校の児童生徒で、レクリエーション大会を行いました。今年、中学校生徒会役員が、「逃走中」というテレビ番組を参考にレクを考えました。その後、小学校の代表委員と協力し、楽しくレクができました。小学校と中学校で協力して取り組むことの大切さや、楽しさを味わうことができたと思います。



第3回「式根島未来会議」発表会のお知らせ

日付 3月11日(水) 6校時 14時25分～

場所 式根島中学校 体育館

12月13日（金）の第2回未来会議には、多くの島民の方々に参加していただき、たくさんの貴重なご意見・アドバイスをいただきました。3学期は、それらを生かしながら、「釣りコンテスト」、「オリジナルドリンク販売」、「クラフトショップ」それぞれのグループが、自分たちのアイデアを形にするための具体的な活動を計画しています。釣りグループは最初の企画は断念しましたが、まずは試しに小規模でもやってみようということで、2月9日に中学校の生徒と教員に参加者を募り、釣りを楽しむ会を行いました。クラフトグループとドリンクグループも島民文化祭での出店を目指し、地域の方々の協力をいただいて、作品づくりや試作品づくりを行いました。協力的な地域の方々に支えられ、様々な方との交流を通して貴重な体験ができたと思います。3月11日の今年度最後の未来会議では、今まで考えたことや、話し合ったこと、実行したことをまとめて発表します。子供たちの1年間の学習成果をぜひ見に来てください。



2月6日（木）放課後
地域の方による
ボトルアート教室



2月7日(金)5校時
地域の方による
紙テープアート教室



2月9日(日)
釣りコンテスト班による
釣り体験

第66回東京都公立学校 美術展覧会について

2月13日(木)から2月19日(水)まで東京都美術館で行われていた美術展覧会に、本校から3名の生徒の作品が出品されました。

【美術】9年 ・ 7年

【技術分野】9年 ・ 9年

【家庭分野】9年

【書写】9年



波ようねりよ

「雑煮」

養護教諭

少し前の話になるが、年明けに生まれて初めて、九州地方の雑煮を食べた。我が家は白菜とにんじん、鶏肉の入ったあっさり醤油味。その雑煮は、鶏肉、にんじん、ごぼう、里芋、大根と根菜尽くしだった。甘口醤油で味付けするのがポイントらしい。

地域によって味付けが違うとはよく聞くが、家庭によっても違うのだろう。初めてその雑煮を食べた時、ふと、みんな家庭それぞれ違う味付けのものを食べて育ってきたのだな、と思った。同じ国に生まれても、好みの味付けや習慣はみんなそれぞれ違うのだ。

ただ、根菜がゴロゴロ入った大盛りの、その丁寧な味付けの雑煮からは、作り手の愛情が伝わってきた。今まで食べてきたのとは違う味付けでも、その雑煮を食べるととても幸せな気持ちになった。それは、甘口醤油とお出汁の効いた、優しい味だった。

3月の予定



生活目標：1年間を振り返ろう

保健目標：耳を大切にしよう

給食目標：感謝して食べよう

『式中だより』は、毎月20日をめどに発行していきます。

2	月	6年生授業体験・合同給食	16	月	卒業式 会場準備・奉仕活動
4	水	染め出しみがき	17	火	卒業式 予行
5	木	スポーツレク・送別会	19	木	卒業式
6	金	保護者会	24	火	式小卒業式・大掃除
9	月	SC 来校	25	水	修了式・離任式
11	水	式根島未来会議 発表会・SC 来校			

※カラー版の式中だよりはホームページでご覧ください。